

1. 背景と目的

「大垣公園等再整備市民構想」を基にして、市民に古くから利用され愛着のある大垣公園が、歴史ある大垣城と共に、多くの市民に楽しく利用される場所、そして、中心市街地にある特性を生かし、活力と魅力があふれ、賑わいのあるまちづくりにつながるような場所になることを願い、大垣市が「大垣公園等再整備基本構想」を策定します。

2. 大垣公園の概要

- ①広場（大垣城本丸、二の丸を中心に整備され開園した公園）
 - ①-1 遊戯広場（市内で一番大きい複合遊具があり人気）
 - ①-2 芝生広場（一年中、緑の芝生、多くのイベントで利用）
 - ①-3 城西広場（大垣城の撮影スポットとして人気）
- ②大垣城（市内歴史文化施設のなかで、天守は最も来館者数が多い）
- ③大垣城ホール（幅広くスポーツ施設として利用）



3. 大垣公園等の利用状況

市民アンケート、高校生アンケート、大垣公園来園者アンケート、大垣城ホール利用者アンケート、意見交換会（大垣市商店街振興組合連合会、大垣公園周辺自治会）、大垣女子短期大学・興文中学校とのワークショップ、興文小学校出前授業、小中学校絵画募集を行いました。

4. 大垣公園の課題

(1) 広場 ①全体

・様々な種類の構築物のデザインに統一性がない。 ・案内表示が乏しく、施設の配置が分かりづらい。等

②遊具広場

・幼児と児童の遊戯エリアがわかれていないため、安全な利用ができない。等

③芝生広場

・利用者が多いので、広場が狭い。

④城西広場

・砂の広場となっており、利用者が少ない。

(2) 大垣城

・城郭内の樹木の径化や枝葉の繁茂により、周りから天守の見通しが悪い。
・天守周辺に段差が多く、バリアフリーに対応していない。等

(3) 大垣城ホール

・エレベーターがないなど、バリアフリーに対応していない。
・大ホールに空調設備がない。等

(4) 駐車場

・広場と大垣城に駐車場がない。 ・大垣城ホールの駐車場は駐車台数が少ない。等

5. 新たな時代に向けた大垣公園等の再整備方針

(1) 基本理念

『100年先も愛され続ける
大垣のシンボルパーク』



(2) 基本方針

①大垣城が核となり「歴史」をつなぐ公園

- ・140年以上の歴史ある大垣公園を次世代に引き継いでいけるよう学びの環境の整備を推進します
- ・大垣城の持つ歴史的価値を最大化するため、遺構の活用や歴史が感じられる公園の整備を推進します
- ・大垣城の景観を守るため、修景整備等を推進します

②みんなが快適に利用できる「やすらぎ」に満ちた公園

- ・みんなが「やすらぎ」を感じ、豊かなみどりとふれあえる空間の整備を推進します
- ・ユニバーサルデザインを取り入れ、全ての方が安全安心で快適に利用できる憩いの空間の整備を推進します
- ・水都大垣として市民の誇りである水を生かした空間の整備を推進します
- ・公園施設を有効活用し、防災機能の充実を推進します

③市民が集い「にぎわい」のあふれる公園

- ・中心市街地にあるという地理的利点を生かし、広場・大垣城・大垣城ホールの一体性の向上を図り、にぎわい創出を推進します
- ・市民活動やイベント活動が活発に行える空間の整備を推進します
- ・公園の持つ子育て支援機能を重視し、子どもが集い、楽しく遊べる遊戯広場・芝生広場の充実を推進します
- ・官民連携の手法を用い、利用者満足度の高い公園の整備を推進します

(3) 主な機能と検討事項等

※1 性別・国籍・障害の有無などにより排除されることなく包括的なこと

※2 自宅、学校、職場とは別に存在する居心地のいい場所のこと

※3 自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする社会資本整備手法

①全体

- ・景観に配慮した公園等の整備
- ・防災機能に配慮した安全安心な公園等の整備
- ・全ての人を楽しめるインクルーシブ^{※1}な公園等の整備
- ・ICT技術を活用した公園等の整備及び管理

②広場

- ・中心市街地のサードプレイス^{※2}となる緑豊かな芝生広場の拡充
- ・樹木の適切な保全を図り、快適に利用できる憩いの空間の整備（グリーンインフラ^{※3}整備）
- ・健康維持のためのジョギング等、ヘルスケア機能の充実に向けた整備
- ・複合遊具等の充実及び幼児用遊具との分離
- ・ドッグランなど動物ふれあいスペースの検討
- ・カフェ等の飲食施設導入の検討及びトイレの充実

③大垣城

- ・大垣城の堀など、遺構の調査
- ・歴史的なシンボルである観光資源としての整備や展示
- ・利便性向上に向けたトイレの再整備

④大垣城ホール

- ・中心市街地のにぎわい創出につながり、かつ現公園敷地外への配置
- ・大垣公園と一体的に利用できる新たな拠点としての整備
- ・各種イベント、学校体育から大人の軽スポーツ、レクリエーション、健康増進、生涯学習等の多様なニーズへの対応
- ・屋内で子どもが遊べる場所や乳幼児を含め休憩ができる場所の検討

⑤駐車場

- ・公園用の駐車場として市営駐車場の再整備の検討
- ・周辺の民間駐車場を活用した休日利用やイベントの規模に応じた駐車場の確保

6. 今後の取り組み

(1) 事業手法の検討

官民連携手法の導入には、大垣公園等の利活用状況及び管理運営体制の検証を踏まえながら、事業ごとの特性に配慮し、施設の規模・用途だけでなく、都市の規模や立地性（交通利便性等）、人口規模、人口動態など、さまざまな要素を総合的に判断し、導入を決定する必要があります。

そのため、次のような民間活力を活用する事業手法の導入について検討していきます。

事業手法	公募設置管理制度 (Park-PFI)	PFI ^{※1} 事業
資金調達	市+民間事業者	民間事業者
整備主体	市+民間事業者	民間事業者
事業期間	最長 20 年	10～30 年程度
所有者	公募対象公園施設：民間事業者 特定公園施設：市 その他公園施設：市	民間事業者→市

事業手法	DBO ^{※2} 方式	DB+O方式
資金調達	市	市
整備主体	民間事業者	民間事業者
事業期間	10～30 年程度	単年または複数年
所有者	市	市

※1 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

※2 D (Design: 設計) B (Build: 建設) O (Operate: 運営)

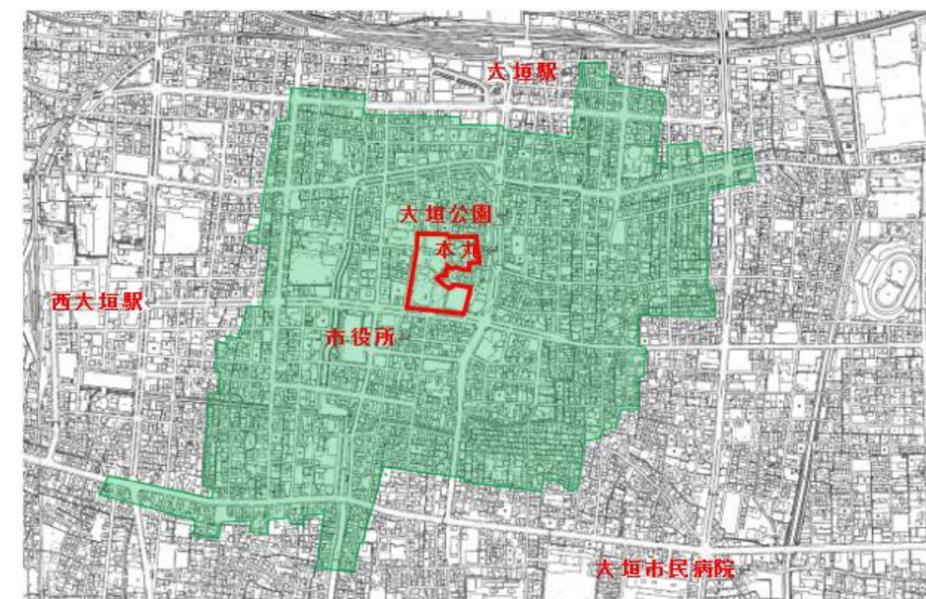
(2) 維持管理運営手法の検討

大垣公園等においては、中心市街地の活性化に向けた駅通りを活用した観光イベントとの連携や休憩スペースにおける民間事業者の出店の可能性も含め、今後、基本計画の策定にあたっては、大垣公園等の維持管理・運営手法のメリット・デメリットの検証を行い、施設管理運営方針を検討していきます。

項目	公営が主体	民営が主体
方式	直営方式（一部業務委託を含む）	委託方式
責任の明確さ	責任の所在が明確	仕様書により責任範囲の明確化が必要
事業実施の柔軟性	行政手続きに沿った事業展開が必要のため、新しい技術等の導入の際に時間を要する	新しいサービスの提供にかかる迅速な意思決定が可能
維持管理費の縮減	アウトソーシング化等による委託費の発生など、維持管理費を縮減しにくい	収益事業を財源に充当するなど、維持管理費の縮減を行いやすい
管理運営ノウハウの蓄積	同一組織による運営のため、蓄積と継承を行いやすい	委託期間満了後に管理者が変わる可能性がありノウハウが蓄積しない可能性がある

(3) 文化財等の保護措置

市街地の大部分が「大垣城跡・城下町」として埋蔵文化財包蔵地となっています。大垣公園の整備にあたっては、史跡等の文化財の保存と活用を図るとともに、埋蔵文化財包蔵地^{※3}において土木工事などの開発行為を行う場合には、適切な保護措置を行う必要があります。



埋蔵文化財包蔵地「大垣城跡・城下町」の範囲 大垣公園区域
「新版大垣市道跡地図」参照

※3 土地に埋蔵されている文化財（主に遺跡といわれている場所）のこと。

(4) スケジュール

今後は、令和6年度に基本計画を策定し、令和7年度以降に、各施設等の基本設計、実施設計等を進めていきます。

